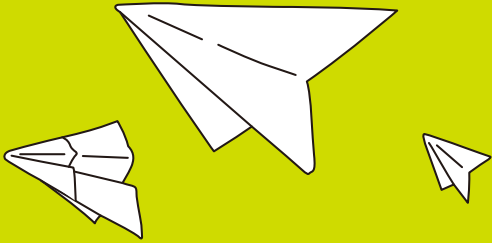


JUNIOR LEADER ACTIVITY HANDBOOK

中高生のための

ジュニアリーダー 活動ハンドブック



JUNIOR LEADER ACTIVITY HANDBOOK



財団法人
ボーイスカウト日本連盟



平成21年度文部科学省委託事業
青少年元気サポート事業

目次

中高生のための ジュニアリーダー 活動ハンドブック

I はじめの一步	2
II 会場到着から活動が始まるまでに	4
1. 大人のリーダーと確認しよう	
2. 集まってきた子どもたちとコミュニケーションをはかろう	5
III 活動をはじめよう	6
1. 子どもたちを集めるときに気をつけること	
2. 話す	8
3. 子どもたちと仲良くなる	9
静かに話を聞いてもらうコツ=導入の方法	10
リーダーの話を聞かせるためのゲーム	11
IV 安全について	12
V 活動の終わりに	14
その他のチェックリスト	15
ジュニアリーダーとしての活動	16

この冊子は平成21年度文部科学省委託事業 青少年元気サポート事業により財団法人ボーイスカウト日本連盟のキッズコミュニティー運営協議会が制作いたしました。

監修：石田易司 社団法人日本キャンプ協会常務理事
桃山学院大学教授

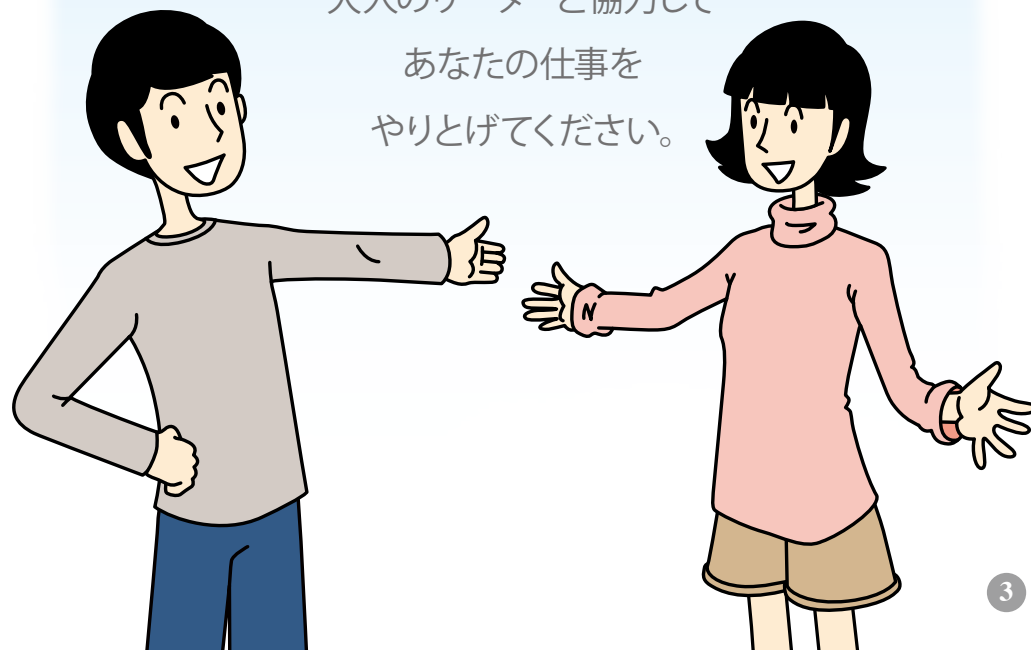


ジュニアリーダーの仕事は 子どもたちと楽しく活動することです。

そのために、あなたにお願いしたいこと。



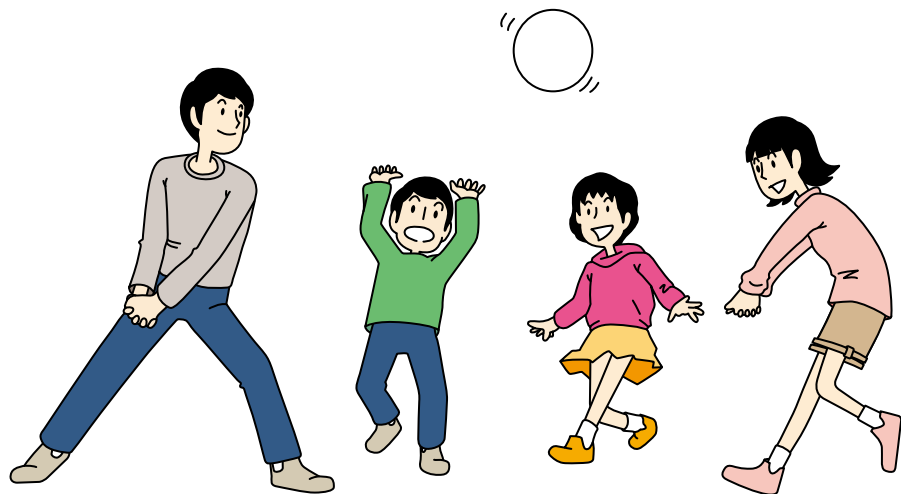
子どもたちが
安全に活動できるように
安心して活動できるように
そして、
また遊びたいと思えるように
大人のリーダーと協力して
あなたの仕事を
やりとげてください。



I はじめの一步

あなたが小学生と一緒に活動するときに、どのような心構えで手助けをすればよいのでしょうか。

- あなたは大人のリーダーから、子どもたちとの活動にとっても必要とされています。
- そこで、活動の前に、子どもたちがどのような気持ちで参加するのか、また、自分がどのように子どもたちと遊ぶのかを想像してみましょう。
- 当日は、集合する時間に余裕をもって、会場に到着しましょう。
- 活動の内容を、よく理解しましょう。
- わからないことは、大人のリーダーに質問、相談をしましょう。



すること

- どんな活動をするのか知り、準備をする。
- 子どもと一緒に活動するときに気をつけることを考えてみる。

- みんなの前で説明したり、話したり、実演したりすることがあるならば、練習をしておきましょう。
- 活動中に、予期しないこと、困ったことがあったら、必ず、大人のリーダーに相談しましょう。
- 「あぶない」と思ったら、声を出して注意するとともに、すぐに大人のリーダーに伝えましょう。

大切な「ほうれんそう」

みんなで仕事をするときは、お互いに状況をよく理解していることが大切です。自分一人の勝手な判断が、大きな事故につながってしまうこともあります。

そこで、報告すること、連絡すること、相談することを実行しましょう。「報・連・相」＝「ほう・れん・そう」と覚えて、いつも心がけてください。



してはいけないこと

- 自分一人の判断で、予定していることを変更したりしない。

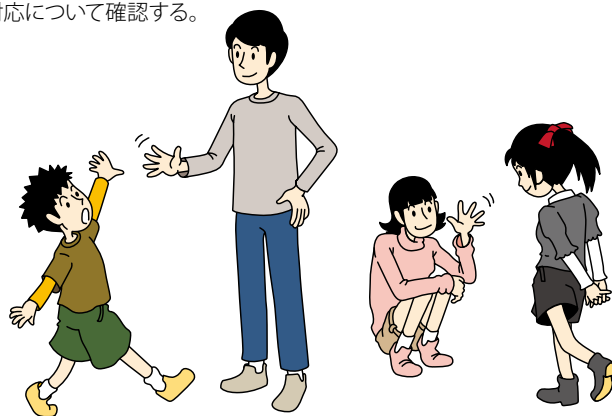
II

会場到着から活動が始まるまでに

さあ、いよいよ活動の当日です。具体的にどのように当日の準備をするのか、子どもたちをどう迎えればよいのかを考えてみましょう。

1 大人のリーダーと確認しよう

- 活動全体の流れを理解する。
- 会場（活動場所）の確認と必要なものの準備をする。
- 参加する子どもたちの確認（人数、グループの数など）をする。
- ゲーム、歌などを確認し、自分の分担（仕事）を理解する。
- ゲームなどのルール、行動範囲、安全上の注意事項を理解し、子どもたちにも伝えられるようにする。
- 服装を確認する。活動の妨げとなるようなもの（アクセサリなど）は外す。
- 緊急時の連絡方法や対応について確認する。

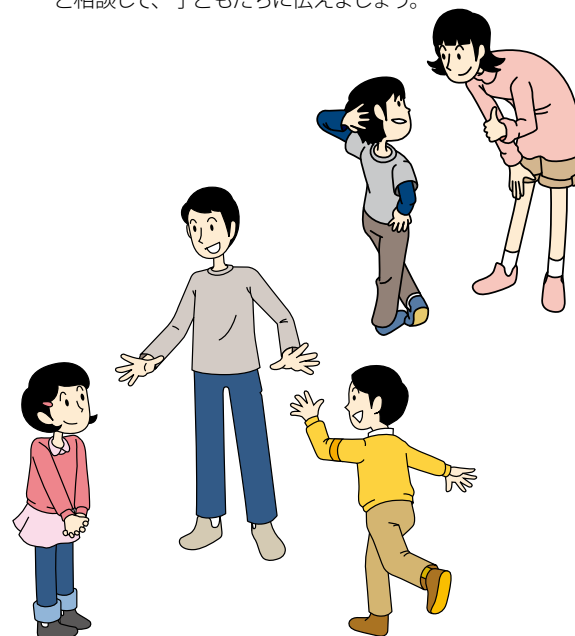


すること

- 早めに会場に到着し、自分の担当をよく確認する。
- 子どもたちを明るく迎える。

2 集まってきた子どもたちとコミュニケーションをはかろう

- 子どもたちを元気に迎えましょう。
- あなたも緊張して、ドキドキしているかもしれませんが、子どもたちに元気に声をかけましょう。
- 声をかけながら、一人ひとりの子どもの様子を観察しましょう。
- 集まってきた子どもたちと、簡単な遊びやゲームをして緊張をほぐしましょう。
- 活動に必要な持ちものなどを確認しましょう。忘れ物などがあつたら、どうすればよいのかを大人のリーダーと相談して、子どもたちに伝えましょう。



してはいけないこと

- 子どもたちを緊張させない。
- 子どもが気にしているような身体的、精神的な特徴をみんなの前で言わない。

いろいろな子どもたち

集まってきた子どもたちを観察してみると、子どもたち一人ひとりと、みんな違って、それぞれに個性があることが分かります。一人ひとりの個性を大切にしながら、楽しい活動を行うようにしましょう。

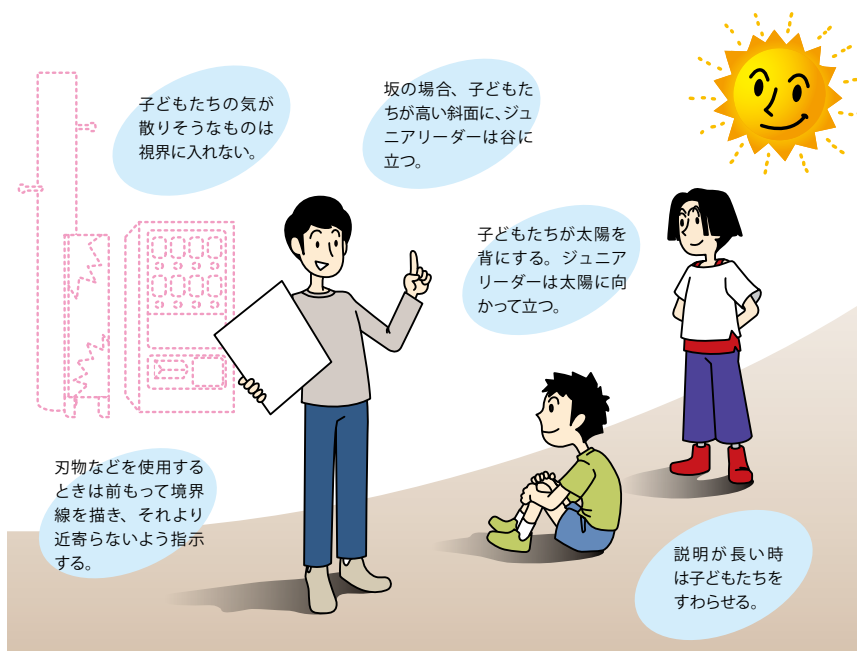
もし、活動中に、子ども同士が相手の特徴をからかったりするような場面に出会ったら、まず、人が不快に思うことはやめるようにはっきりと伝えましょう。うまく伝えられなかったり、言うことを聞いてくれなかったりすることもあるかもしれませんが、あなたが明確な態度で伝える姿、また、そのようなことを悲しんでいる姿は、子どもたちにもきっと伝わると思います。大人のリーダーとも十分に相談しながら進めてください。

Ⅲ 活動をはじめよう

活動が始まります。子どもたちがみんな集まってきました。子どもたちは、はじめての活動で、どうすればいいかわかりません。

1 子どもたちを集めるときに気をつけること

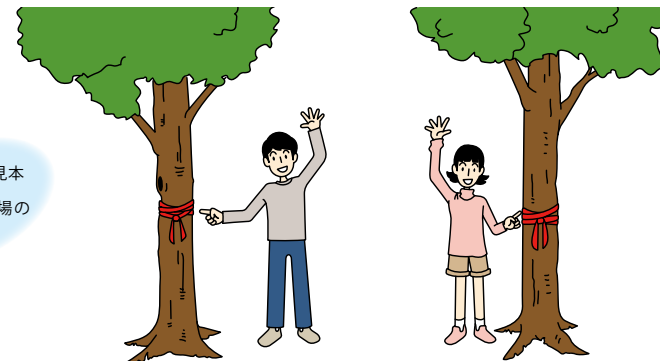
- 集まる場所、集まる形、自分がたつ位置などを考えてみましょう。



すること

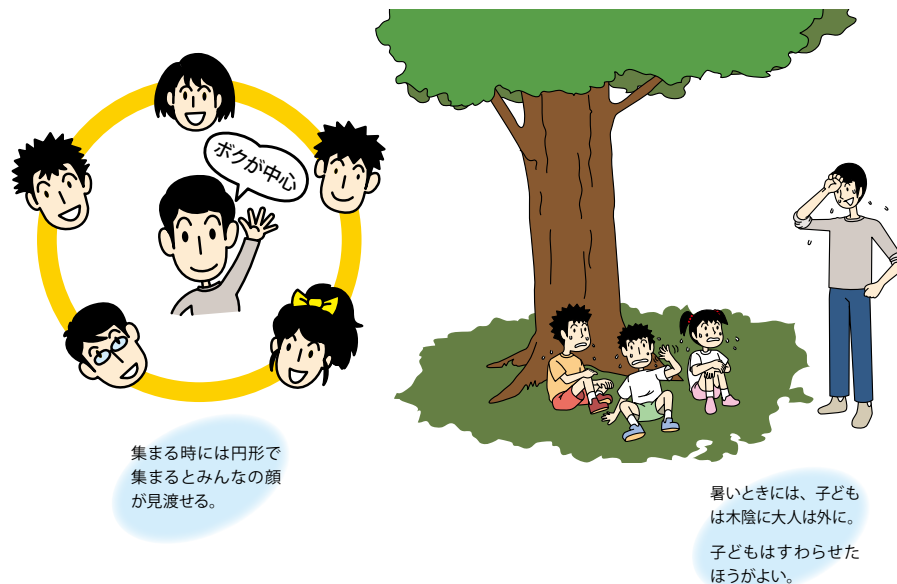
- 子どもたちの様子を見ながら、活動を開始する。

集合隊形の見本
この間が広場の
目印だよ



- 子どもの数と様子を確認します。

ほかのジュニアリーダーが説明しているときなどは、活動に参加している子どもたちが全員いるか、トイレなどにいきたそうな子どもはいないか、よく観察しましょう。

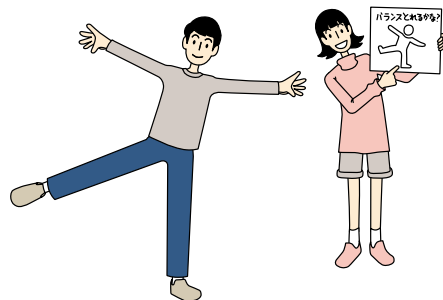


してはいけないこと

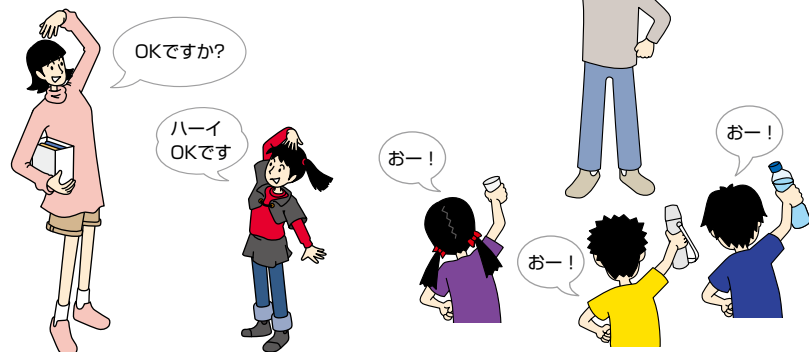
- だらしない態度や服装。

2 話す

- 明るく、ゆっくり、大きな声で話そう。
- 一人ひとりの顔を見ながら話そう。
- 説明は言葉だけでなく、文字や絵を使うなどの工夫をしてみよう。



- 使うもの、道具、場所など実物を見せながら、説明しよう。
- 話をした内容を子どもたちが理解できたか、時々、確認してみよう。その時に何か合図を決めておいて、確認してみよう。



すること

- 子どもたちが理解できるように工夫する。

3 子どもたちと仲良くなる

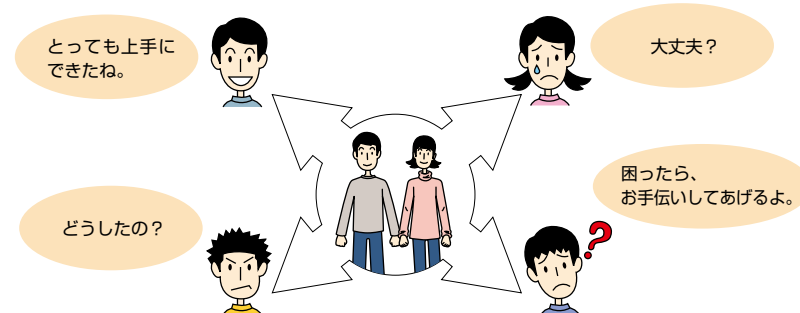
- 子どもたちは、あなたと仲良くなりたいと思っています。そこで、子どもたちが手伝えることを頼んでみましょう。



仲間づくり

ジュニアリーダーにとって、子どもたちと仲良くなる一方でもう一つ大切なことがあります。それは、子ども同士の関係をつないでいき、楽しい仲間の輪になるようにお手伝いすることです。そのためには、仲間はずれになっている子、みんなと一緒にうまく遊べない子がいないか気をつけましょう。

- 子どもたちの様子を観察しながら、声をかけましょう



してはいけないこと

- 子どもたちと約束した内容を、自分が守らない。

静かに話を聞いてもらうコツ = 導入の方法

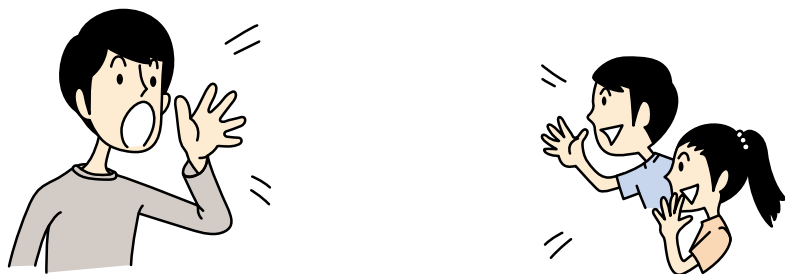
その1 元気なあいさつ

「みなさん、こんにちは～!」「あれ。ちょっと元気がないな～。もっと声が出ないかな～。」

(間を取って、さっきより大きな声で)「こんにちは～!!」「わあ、すごく大きな声が出たね。」

(声が返ってこなければ)「あれあれ～、聞こえないよ～。もう一回いくよ・・・」

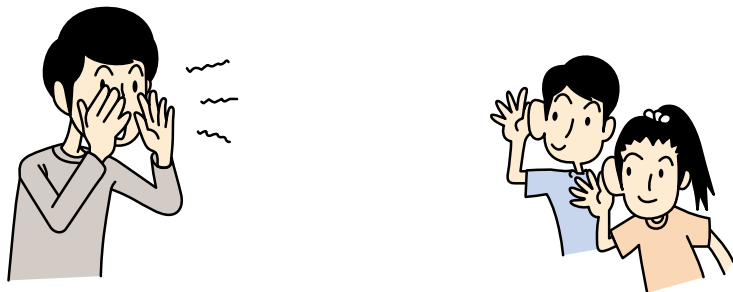
こうやってあいさつを切り出すと、子どもたちは競ってあいさつを返してくれます。年代があなたと近くて、照れがあってあまり反応がよくないときは、「まだ緊張しているみたいだね。では・・・」と話題にそのまま入れば、違和感がありません。



その2 もう少し小さな声で

「みんな聞こえますか?」「じゃあ、聞こえる人は右手を挙げて」(少し声を小さくして)「じゃあ、今度は左手を挙げて」「みんな聞こえてますね。」

こうやると、あなたの声を聞こうと子どもたちは耳を傾けてくれます。「静かにして」「話を聞いて」と言うよりも、ずっとスマートですね。



リーダーの話を聞かせるためのゲーム

一本指の拍手

最初、両手の人差し指一本で拍手し、次は人差し指と中指の二本で、3回目は三本ずつと指を増やしていき、最後は大きな拍手につなげ、「僕(私)のために拍手をありがとう」と笑いを誘います。

- ① 両手の人差し指を出してみてください。僕が「はい!」といったら、人差し指で拍手をして、音を出してみてください。
- ② 「はい!」「あまり音が聞こえませんか。」
- ③ 今度は、中指も加えて二本ずつにします。「はい!」といったら、二本の指で拍手をして、音を出してみてください。
- ④ 「はい!」「少し大きくなったみたいです。」
- ⑤ 今度は三本です。
- ⑥ 「はい!」「大分、大きくなったかな?」
- ⑦ じゃあ四本にしてみましょう。
- ⑧ 「はい!」「随分大きくなってきましたね。」
- ⑨ さあ最後です。五本だどうでしょう?
- ⑩ 「はい!」「もっと出ませんか?」「もっと、もっと。」
- ⑪ 僕(私)のために盛大な拍手をありがとうございました。じゃあ〇〇を始めましょう!



後出しじゃんけん

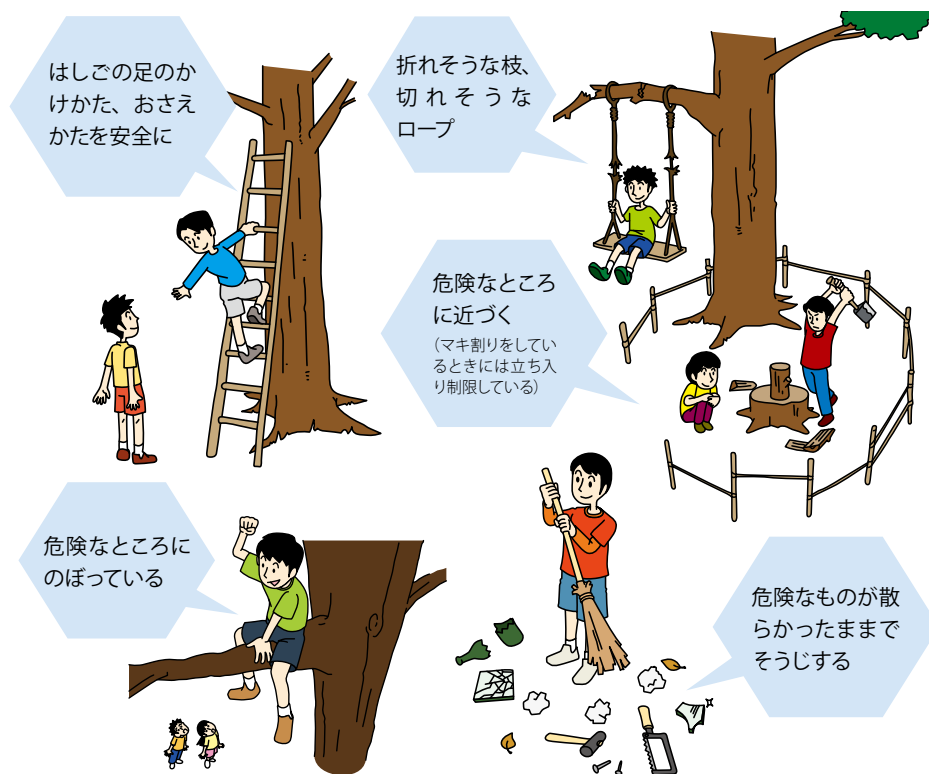
- ① 「後出しじゃんけん、じゃんけんぽん、ぽん」というかけ声をかける。
- ② 最初の「ぽん」のときにリーダーが手を出します。
- ③ 2回目の「ぽん」で、参加者が手を出します。
- ④ 参加者が後出しをして、リーダーの出すじゃんけんの手に勝てば、勝ちです。
- ⑤ 最初はゆっくり行い、参加者が馴れてきたら、少しテンポをあげてみます。
- ⑥ 今度は参加者が負ける番、後出しで負けてもらいます。



IV 安全について

事故を起こさず、楽しい活動をするために、あなたにも気をつけてほしいことがあります

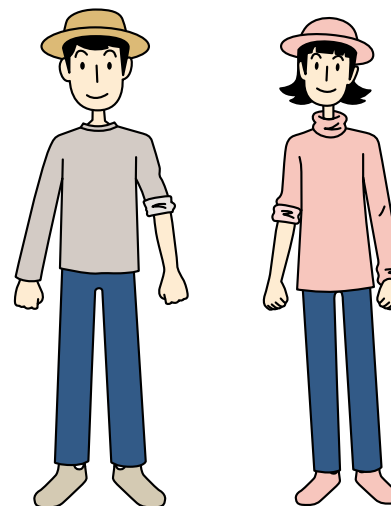
次のイラストを見て、ケガや事故につながる「危険」なものについて考えてみてください。



すること

- いつも、安全を心がける。(危険なことを発見する)

服装も安全を守る大切な要素です。



リーダーの服装

動きやすいこと。季節や活動場所も考えてみましょう。例えば、日除けのための幅広ぼうし、長袖(うでまくりで体温調節できる)、はきなれた運動靴など。また、アクセサリなどは子どもだけでなく、あなたにとってもケガの原因となるので、活動中はとり外すなどしましょう。

この他にも気をつけてほしいこと

1. 目的にあった道具や機材を正しく使っているか(別のもので代用していないか)
2. 子どもたちが決められた行動範囲内で活動しているか(危険な場所に入っていないか)
3. 雨天、荒天時の行動方法を確認しているか
4. 責任者(大人のリーダー)への連絡方法が分かっているか
5. 周りにあなた以外の大人のリーダーがいるか
6. 担当したグループの参加メンバーがいるか(いない場合:仲間や大人のリーダーに連絡をして誰が探すか、残った子どもたちへの指示を誰が出すのかを相談する)
7. グループメンバーの1人がトイレや水飲みなどで集団から離れるとき、誰が同行するのか
8. 担当したグループのメンバーがケガなどをしたときの応急処置と連絡方法を確認しているか

してはいけないこと

- お手本を示すことを忘れる。

次の活動がもっと楽しく、よいものになるように、今日の活動を振り返ってみましょう。

1. 子どもたちに、今日の感想を聞いてみよう

- 楽しかったこと、印象に残ったことなど、可能な限り、一人ひとりの子どもから感想を聞きだしてみましょう。
- 話すことが苦手な子、好きな子がいますので、質問の仕方などを工夫してみましょう。
- 例えば、あなたの感想を、どこが楽しかったなどを具体的に言ってみることも効果があります。
- 「楽しかった」と答えた子どもは、次もやりたいという気持ちになります。
- 今日は、楽しめなかった、失敗をしてしまったと感じている子がいれば、励ましてあげましょう。

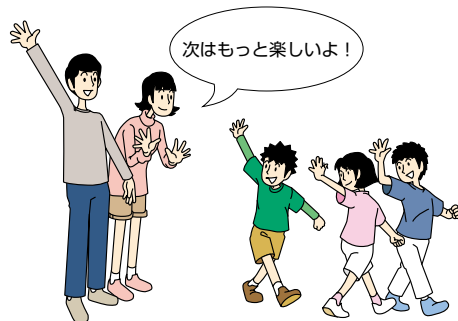


2. 活動を通してケガがなかったか、体調が悪くなっていないかを確認しよう

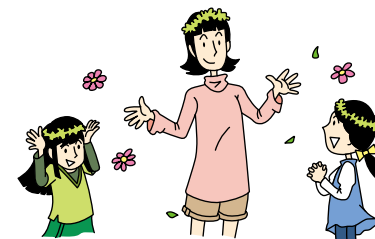
- ルールを守らないでケガをしたりした子どもは、正直にいけないことがあるので、「怒る」のではなく、「心配」であることを伝えましょう。
- ケガ、体調が悪い子どもがいる場合は、すぐに大人のリーダーに伝えましょう。

3. 子どもたちが次の活動に参加したくなるような声をかけて終わろう。

- 「さよなら」ではなく、「また、〇〇しようね」「今度は、もっと楽しいよ」「今日は、手伝ってくれてありがとう。また、よろしくね」あなたらしい言葉をかけましょう。



その他の チェックリスト



すること	してはいけないこと
☐ 子どもたちのよいお手本になる。 ☐ 子どもたちと仲良くなる。 ☐ どんな活動をするのかを知り、準備をする。 ☐ 子どもと一緒に活動するのに気をつけることを考える。 ☐ 早めに会場に到着し、自分の担当をよく確認する。 ☐ 子どもたちを明るく迎える。 ☐ 子どもたちの様子を見ながら、活動を開始する。 ☐ 明るく、ゆっくり、大きな声で話をする。 ☐ 子どもたちが理解できるように工夫する。 ☐ 子どもの良いところを見つけ、なるべくほめるようにする。 ☐ 子どもたちと楽しく活動を振り返る。 ☐ 子どもたちがケガをしたり、体調不良になったりしていないかを確認する。 ☐ 活動に集中する。	☐ 子どもたちを緊張させる。 ☐ 子どもたちとした約束をやぶる。 ☐ 大きな声で子どもをしかりつける。 ☐ 子どもが嫌がることを言う。 ☐ ジュニアリーダー同士でのおしゃべりに夢中になる。 ☐ 自分一人の判断で、予定していることを変更する。 ☐ 活動にふさわしくない服装をする。 ☐ 爪を切り忘れたり、アクセサリーを外し忘れたりする。
<自分でも考えてみよう> ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐	<自分でも考えてみよう> ☐ ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

ジュニアリーダーとしての活動

ジュニアリーダーとして、もっと活動したいと思っている場合は、あなたの住んでいる市町村にたくさんの青少年団体があります。自分にあった活動の団体に参加したり、協力の申し出をしてみてください。どこの団体でも、きっとあなたを温かく迎えてくれると思います。

また、いろいろな技能を身につけると、もっと楽しく活動ができます。例えば、野外活動のためのスキルは、キャンプ講習会、ケガへの対処であれば救急法講習会など、各団体などでも開催していますので、お問い合わせ下さい。



中高生のための ジュニアリーダー 活動ハンドブック

2010年2月 初版発行

編集 逢阪 伸一 東海大学 教授

碓井 建文 足利工業大学附属高等学校 教諭

高田 真志 (財) ボーイスカウト日本連盟 教育本部委員

木下 貴晴 大牟田中学校 教諭

吉村 敏 (財) ボーイスカウト日本連盟 事務局

監修 石田 易司 (社) 日本キャンプ協会 常務理事／桃山学院大学 教授

このガイドブックは平成21年度文部科学省委託事業 青少年元気サポート事業として
ボーイスカウト日本連盟のキッズコミュニティー運営協議会が制作しました。

発行：  財団法人
ボーイスカウト日本連盟

〒181-0015 東京都三鷹市大沢 4-11-10

TEL 0422-31-5161 FAX 0422-31-5162

URL : <http://www.scout.or.jp/>

MEMO